

# ぼらんていあ倶楽部

発行：西東京ボランティア・市民活動センター 〒188-0011 西東京市田無町 5-5-12 総合福祉センター  
TEL 0424(66)3070 FAX 0424(66)3555



## ことばの相談室から

梅村 浄きよら

南町で梅村こども診療所（小児科・内科）を開業してから13年が経ちました。ことばの相談室は待合室の奥にあります。風邪や下痢の診療を受けに来たこどもたちは、時として奥の部屋から聴こえてくる音楽や歌声に興味津々といった感じですが、中をのぞくことができず残念そうです。相談室に通ってくるこどもたちの数はだんだんに増え、現在では3人の言語聴覚士のスタッフが、毎日、相談やことばの指導をしています。

「ことばが遅いので、心配」と、お母さんがこどもを連れてこられることが一番多いでしょうか。私は最初にお会いする時に、こどもの様子を診て、言葉が遅いのかどうか、もし、遅いとしたら、その原因は何が考えられるのかについて、お母さんにお話するようにしています。私たちが援助することが適当と判断したら、担当の言語聴覚士を決めて、定期的に通うこととなります。無理なく通える範囲は、住まいが西東京市かその周辺です。

こどものことばの指導は、薬のように、定期的のみみ込めば、獲得されるものではないところが難しいのです。ことばを話す前の赤ちゃんを見ていると、生まれたときからお母さんやまわりの人間とコミュニケーションしています。視力がまだそれほど良くはないのに、お母さんの声がするとそっちの方に目を向けます。語りかけられると、うにゃうにゃ、声をだして答えます。ことばはないけれども、すでにその時から会話が成り立っているとも言えますね。この土壌を毎日、耕すうちに、ことばが芽をだしてきます。

最近、気になっているのは、こどものことばが遅いことに気づいたお母さんたちは、インターネットを検索して、そこに載っている情報に、わが子を照らし合わせて、一喜一憂することが多いことです。専門家の眼をもって、お母さんに一日中、チェックされては、こどももほっと安らぐ時がもてません。ぎくしゃくした親子関係になってしまいます。

もう一つ、気になっていることがあります。ことばが遅いこどもたちは、幼稚園や保育園にいません。何とかことばを追いつかせたいと、園から帰った後も、幼児向けのさまざまな教室に、毎日のように通わせているお母さんがいます。この二つは、こどものことばを育てていく土壌を痩せさせていくのではないかと、そのことが気がかりです。

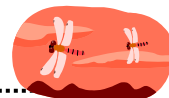
お母さんが焦らないですむように「ことばが遅くても平気だよ。一緒に育っていこうよ」と、周りの人たちが声をかけあっていくことが、実は、こどものことばを育てる手助けになっているんです。『ぼらんていあ倶楽部』の皆さんも、ぜひ、その一人になって下さるよう、この場を借りてお願いいたします。

## 梅村 浄さんプロフィール

15年間、保谷市にある一二三学園という重症心身障害児の施設で小児科医として勤務した後、1990年より田無市の自宅で「梅村こども診療所」を開業しました。（現在はこの2市は合併して西東京市です）水曜日と木曜日には、併設している「ことばの相談室」でことばに問題を抱えているこどもたちの相談にのっています。最近、幼児が発することばの重要性を考え、むやみに心配をしたり、まちがった処方をしていないためのガイド『こどものことばは暮らしから生まれる』 ことばの遅いこどもの育ち を晶文社から出版しました。

## 9月 ファーストステップ講座&おしゃべり会

10月



8月に実施した「自閉性障害を考える」の2回目として、障害のうけとめ（受容）・リハビリテーション（訓練）・ボランティア（支え）などについて実践的な側面（発達保障）から考えます。  
日時：9月20日（土）13：30～15：30  
場所：西東京ボランティア・市民活動センター

ゲストに「梅村こども診療所」の梅村浄さんをお迎えして「ことばの相談室」で様々な相談をとおして日ごろ気にかかることなどをお話いただきます。  
日時：10月18日（土）13：30～15：30  
場所：西東京ボランティア・市民活動センター



## 活動レポート

## ピアノボランティアをはじめ

酒井 佑希子

私は今、52歳の難病女性のお宅に伺ってピアノを弾くボランティアをしています。学校の先生だったのでピアノを弾くこともあったそうです。ご主人が奥さんのピアノへの思いをかなえてあげたいということでボランティアをすることになりました。初めてこのボランティアのお話を聞いたとき、とてもうれしくなりました。私は小さい頃からピアノを習い始めて、今も趣味で続けています。小さい頃からやっていたピアノが人の役に立つなんて思ってもいませんでした。ボランティアというと老人ホームなど施設で行うボランティアを想像しますが、こういう趣味を生かせるボランティアもあるのだなと思いました。

リクエストされた曲やポピュラー、クラシック、童謡など一緒に歌える曲も弾かせていただいています。ただ、ピアノを弾きに行くのではなく、音楽を通して色々なお話ができたらいいなと思っています。まだ始めたばかりですが、今後もリクエスト曲や一緒に歌える曲などを弾いて楽しいひと時が過ごせたらいいと考えています。

## クラブ紹介 ホステリングクラブ

初めまして。私たちは武蔵野大学のホステリングクラブです。ホステリングという言葉聞いてわからない方が多いでしょう。ホステリングというのはユースホステルからきています。昔はよく旅人がユースホステルを使って旅していたそうです。そういったことから、旅を通して様々な自然、人たちとの出会いを目的に旅行したり、ユースホステルにお手伝いしに行ったり、子どもたちに旅の楽しさを知ってもらうために旅企画をし、連れて行ったりしています。ここまでだと微妙にボランティアと関係ないと思われてしまいがちですが、今私たちがやらせていただいているボランティアはさざんかクラブ、そして最近では近くの特別養護老人ホームでやらせていただいています。ボランティアというお手伝い、助けるといった考えもありますが、もちろんそれもあるとは思いますが、私たちの部活は様々な人たちとのちょっとした出会いが自分自身を大きくさせてもらい、そしてそれはとてもすばらしく貴重な時間だと考えています。そのような考えから、ボランティアというのも私たちの活動の一つなのです。ちょっとでも多くの方に私たちの活動を知っていただき、そして出会うという喜びと一緒に感じられることができたらと思います。

武蔵野大学現代社会学部社会福祉学科3年 ホステリング部部长 川田優里

### NPOについて学ぼう

NPOとは何か？どんな団体がどんな活動をしているのか？法人取得の利点・欠点・手続き方法・地域のNPOの取り組み等をご紹介します。

目的：NPOや市民活動に関心のある方を支援する

対象：市民活動に関心のある方

構成：講演「NPOとは何か？」坂口和隆氏

シンポジウム：活動報告

質疑・相談

日時：11月9日(日) 14:00～

参加費：500円

会場：西東京市民会館

主催：西東京ボランティア・市民活動センター

詳しくは10月15日発行の市報、東興通信をご覧ください



### 東京都養育家庭(里親)制度30周年記念講演会

東京都では、さまざまな理由で、親元で生活することができない子どもたちを養育家庭(里親)にお願いする制度を実施しています。今回養育制度30周年を記念して記念講演会を実施します。

講演会 「偶然の家族～血縁から結縁へ～」

落合恵子氏(作家)

対談 「いま、家族のあり方を問う」

落合恵子氏(作家) VS

汐見稔幸氏(東京大学院教育学教授)

日時 9月25日(木) 13:00～16:00

会場 東京都児童会館(渋谷駅下車徒歩7分)

参加費 1,000円

問合せ・申込先 東京都養育家庭支援センター

03-5272-3185

### 特定非営利活動法人アビリティクラブたすけあい 保谷たすけあいワーカーズハミング

ハミングは1993年、旧保谷市内で「老いても障害をもっても、住み慣れたまちで安心して生活が続けられるように」と活動を始めました。市民参加のたすけあいのしくみづくりを、アビリティクラブたすけあい(AC T)と都内31ワーカーズがネットワークしながら進めています。1999年には法人格を取得し、現在はACT会員への自立援助サービス、介護保険の訪問事業、支援費制度の居宅介護サービス、行政委託の高齢者自立支援サービスの4部門のホームヘルプサービスを行っています。

また事業だけでなく、事業を通して見えてくる課題を利用する立場に立った制度に変えてく運動や、たすけあいのネットワークを広域的に進めていく運動を、ACTや西東京・生活クラブ運動グループ地域協議会とともに推進しています。

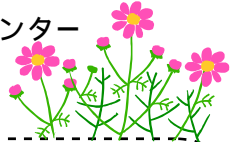
〒202-0015 西東京市保谷町6-25-22 ルーチェヨコタ102

TEL&FAX 0424-25-0383

NPO紹介

高齢者の孤独や不安に耳を傾け、相談相手や話し相手となるボランティアの養成講座を開催します。体験学習を通して「自分を知る」ことから始め、ロールプレイング（受講者がカウンセラーと相談者の役をそれぞれ演じる実習）で、カウンセリングの基本である「傾聴」の技法を学びます。

日程 平成15年10月15日～12月3日（全8回+活動体験）毎週水曜日9：30～11：30  
 会場 田無総合福祉センター 西東京市田無町5-5-12  
 定員 40人  
 参加費 6,000円（別途ボランティア保険代）  
 申込み 往復はがきに住所・氏名・年齢・電話番号・講座名・参加動機を明記して、9月25日（必着）までに下記へお送りください。  
 〒188-0011 西東京市田無町5-5-12 西東京ボランティア・市民活動センター  
 お問い合わせは西東京ボランティア・市民活動センターへ 0424-66-3070



**表情が語っています**

傾聴のボランティアさんに来ていただくようになって3ヶ月が経過しました。できることなら職員一同もっともっと利用者さんの声に耳を傾けたい、じっくりと話をする時間を持ちたいと常に思っています。しかし私達もローテーション勤務で、職員の数にも限りがあり、日々やらなければならない生活の業務もあるため、なかなか時間をとれない現状もあります。

そんな折に傾聴のボランティアさんの存在を知り、お願いしてみることにしました。事前の打ち合わせで、傾聴のボランティアさんの役割について十分に説明をいただいていたので、スムーズに受け入れることができたと思います。

実際の効果について評価すると、導入3ヶ月なのでまだはっきりしたことは言えませんが、お話をしているときの利用者さんの表情がすべてを物語っていると思います。今後もボランティアの方と協力し合ってよい処遇を心がけていこうと思います。

特別養護老人ホーム健光園 生活相談員 大高則明

**心のやりとりができたら**

時代が揺れています。10年前のことが通用しがたくなりました。日々の暮らしの中で、積みり積もったストレスの行き場が見当たりません。何が正しくて、何が間違っているのかさえもわからなくなっているのが今の時代です。それぞれ自分で工夫をしつつ、何とかだましながらやっているのです。そんな時、ふっと肩の力がぬけたらどんなに楽になるのでしょうか。誰かに誠意を持って心の中を十分に聴いてもらえたら、明日からの日々がちょっとちがったものになるとは思いませんか？ただ聞いてもらうのではなく、「聴いてもらう」のです。そこで大事なものは聴き方次第で相手の心持は変わってしまうことです。素直な真っ白な気持ち、共感する気持ち、何でも受け入れる気持ちなど聴く人に求められるものはたくさんあります。

半年前にできた「傾聴ボランティアきずな」はこれらを学ぶことでよりよい傾聴を目指しています。「どうしたらよい傾聴ができるのか？」をいつも課題に様々な施設に出かけて実践し、学習と実践を繰り返すことで一步一步理想に向かって奮闘しております。しかし、技術だけでは足りません。人と人の心が触れ合うのですからそこに「心」がなければよい傾聴はできません。心を豊かに暮らすこと、楽しむ心を忘れないこと、そして大切なのはボランティアをすることで受ける側と行う側が喜びや楽しみを共有できるということです。これまでどんなに多くの喜びやすばらしい体験や友情を得たことでしょうか。長くボランティアを続けるためにも決して一方的ではなく双方からの心のやりとりができたらいいと願っています。

傾聴ボランティアきずな スーパーバイザー山下恭子

**活動室利用申し込み**

西東京ボランティア・市民活動センターでは後期（10月1日～3月31日）活動室利用の申し込みを受け付けています。

**【活動室】**

田無町5-5-12 田無総合福祉センター  
 月～土曜日（祝日・年末年始を除く）  
 午前(9:00～13:00)・夜間(17:00～21:00)  
 中町2-1-3  
 月～金曜日（土・祝日・年末年始除く）  
 午前(9:00～12:30)・午後(13:00～17:00)

対象：ボランティア・市民活動・NPO団体  
 受付：9月1日（月）～14日（日）  
 決定：9月25日（木）に決定し発送します

**第2回福祉行事展示参加団体募集**

『和と輪で生きる～今日からはじめよう私にできること～』

第2回福祉行事で、交流会会場におけるPR展示の参加団体を募集します。詳しくは10月1日発行の社会福祉協議会だよりをご覧ください。

対象：ふれあいのまちづくり活動、ボランティア・市民活動を行っている団体・個人の方

期日：12月7日（日）（展示作業は前日に行います）

会場：コール田無2階イベントルーム

展示物：模造紙（縦110cm×横90cm以内）2枚まで

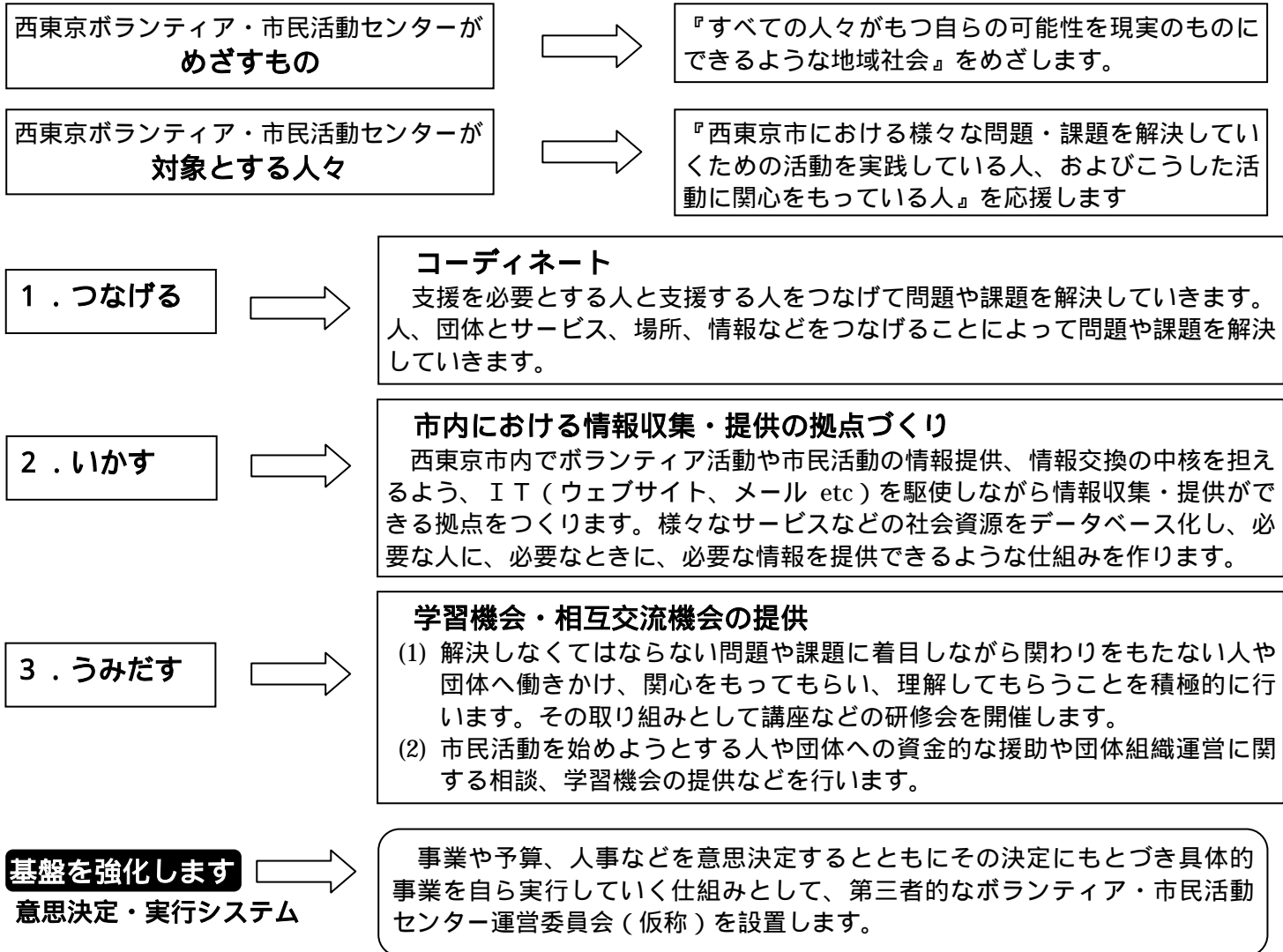
申込締切：10月31日（金）

申込・お問合せ：西東京市社会福祉協議会地域福祉推進係  
 TEL0424-38-3771 FAX0424-38-3772

西東京ボランティア・市民活動センターは、今後何を指し、どのような事業を推進するのか。そして市民活動を進めていくにあたって、その主体的、自立的な活動を確保するためには、センターの組織をどのようにすればいいのか、ということ強化プランという形で作成し、実行することになりました。

このたび過去10回にわたる強化プラン作成委員会で検討してきた内容を「強化プラン中間のまとめ」としました。忌憚のないご意見・ご感想をお寄せください。

## 西東京ボランティア・市民活動センターのこれから...



### 目標はひとりで学校生活を送ること

保谷小学校に通う自閉傾向（知的障害）の2年生の男の子です。ひとりで学校生活を送ることを目標としていますが、まだ手助けや声かけ、安全面の介助が必要な場面があります。会話は成り立ちにくいですが、話しかけたことは簡単なことなら理解できます。自分のことも少しずつ伝えることができるようになってきました。電車が大好きな元気な子です。一緒に学校で過ごしてくれる方をお願いしたいと考えています。現在、母親と数名のボランティアさんで介助をしています。でも母親が学校で子どものそばにいと、息子は家庭との切り替えができなくなり、不安定になってしまいます。ボランティアさんの人数もお仕事の都合などで1学期より減ってしまいました。あいている時間に、無理のない回数で結構です。学校が終わってから学童クラブに送っていただく送迎のみでも大変助かります。どうぞよろしくお願ひします。

（保谷町）仲吉良作・久美 TEL0424 - 69 - 2420

### 募 集

#### 【健光園デイサービスセンター】

内容：手工芸の準備等  
場所：田無町5-5-19 TEL 0424 - 69 - 8943  
ボランティア：介護に興味のある方  
高齢者と楽しく過ごしたい方  
担当：深澤、長池 詳細はお電話で

#### 【ハートフル田無】

内容：シーツ交換（月～金曜日）絵手紙・書道等、特技を生かした活動（火～金曜日）  
場所：向台町2-16-22 TEL 0424 - 68 - 5166  
担当：佐々木

\* ぼらんていあ倶楽部は市内の次の施設、機関でも入手できます。ご利用ください。

西東京ボランティア・市民活動センター 西東京市社会福祉協議会 市役所 郵便局  
公民館 図書館 地区会館 老人福祉センター 福祉会館 消費者センター  
こもれびホール ふれあいセンター スポーツセンター ファミリーマート（中町店）